

平成31年度 北海道大学大学院教育学院博士後期課程学生募集要項

1 募集人員

教育学専攻 21名

2 出願資格

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (2) 外国の大学において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法(昭和51年法律第72号)第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、(4)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)
 - ① 大学を卒業し、大学・研究所等において、2年以上研究に従事したもので、本学院において、当該研究成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において、学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより該当外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事したもので、本学院において、当該研究成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日現在24歳に達する者(平成7年4月1日生まれを含む。)

3 出願資格審査

上記「2 出願資格」の(3)、(4)、(6)、(7)及び(8)により出願しようとする者に対しては、別添「出願資格審査要項」により個別に出願資格審査を行う。

4 出願期間

平成31年1月8日(火)から1月15日(火)まで(受付時間は土日祝日を除く9時～17時まで)

※郵送による場合も期間内に必着のこと。

5 出願書類等

- (1) 入学願書、受験票、写真票(写真は3ヶ月以内に撮影のものを貼付)、宛名票(本学院所定様式)
- (2) 修士課程修了(見込)証明書
- (3) 成績証明書(出身大学院学院(研究科)長が作成し、厳封のもの。) } 本学院(研究科)修士課程修了(見込)の者は不要
- (4) 外国籍であることを証明する書類: パスポート(在留資格を確認できるページ)の写し又は在留カードの写し等
- (5) 検定料 30,000円 ※本学大学院の修士課程(博士前期課程)を修了見込みの者及び国費外国人留学生は納入不要

- ① 別添の「払込書」の※欄に、志願者本人の住所・氏名(漢字、フリガナ)・電話番号を黒のボールペンで正確に記入して、銀行(ゆうちょ銀行を含む。以下同じ。)の窓口で振り込むこと。 ※ATM(現金自動預払機)は使用不可。
- ② 「振替払込請求書兼受領書」及び「検定料受付証明書」を銀行の窓口から受け取る際には、必ず「受付局日付印」を確認すること。「受付局日付印」が押されていないと願書は受理できない。

- ③「受付局日付印」が押された「検定料受付証明書」を別添の「検定料受付証明書台紙」に貼り付けて提出すること。
- ④「振替払込請求書兼受領書」及び「検定料受付証明書」はなくさないよう注意すること。
※既納の検定料は、以下の場合を除き返還できない。
- ① 出願しなかった場合
 - ② 誤って二重に払い込んだ場合

【返還方法の問い合わせ先】

北海道大学教育学事務部 教務担当：(011) 706-3494

(6) 返信用封筒 2 通

長 3 型封筒(23.5×12.0cm)に宛名を明記し、372円分(速達)の切手貼付のもの。(受験票送付及び合否通知用)

(7) 研究課題概要

修士学位論文要旨(又はそれに相当する研究成果の要旨)及び博士後期課程における研究計画を、A4判縦長横書き40字40行の用紙5枚以内(厳守)(図表を含む。)にまとめ、7部提出すること。(原則としてパソコンを使用すること。また、これに、博士後期課程における研究題目及び氏名を記した表紙を付けて提出すること。)

英語による口述試験を受ける場合は、英文でA4判縦長横書き8枚以内(厳守)(図表を含む。)にまとめ、7部提出すること。(原則としてパソコンを使用すること。フォントはTimes New Roman, 文字サイズは12ポイントを使用し、1ページ40行とすること。また、これに、博士後期課程における研究題目及び氏名を記した表紙を付けて提出すること。)

なお、本学院(研究科)修了(見込)者以外は、修士学位論文(又はそれに相当する研究成果)の写し1部を提出すること。提出された修士論文の写しは返却しない。

6 出 願 手 続

入学志願者は、5に掲げる書類等を取り揃え、出願期間内に本学院宛提出すること。郵送の場合は「大学院入学願書在中」と朱書きし、「簡易書留」郵便で送付すること。

7 入学者選抜方法

学科試験(英語・日本語)、口述試験及び研究課題概要等を総合して合格者を決定する。

ただし、「本学院(研究科)の修士課程を修了した者又は修了見込みの者」(社会人入試により修士課程に入学した者を除く。)は、学科試験を免除する。

*健康教育論講座及び多元文化教育論講座の口述試験は、英語による受験を認める。

また、他の講座でも英語による受験を認める場合があるので、希望者は事前に相談すること。

8 試験日時・科目・場所

平成31年2月7日(木) 9:00~10:30 「学科試験(英語・日本語)」(英語とする。ただし、外国人留学生は日本語とし、英語による口述試験を受ける入学志願者は、英語とする。)

【英語の場合、英和辞書は試験当日に本学院から貸与する(持込みは不可)】

【日本語の場合、「母語-日本語辞書」及び「日本語-母語辞書」のみ各1冊持込み可(国語辞典および電子辞書は不可)】

14:00~ 「口述試験」(研究課題概要に基づき、日本語または英語で行う。)

※ただし、口述試験を受験できるのは、学科試験の基準点を満たした者及び学科試験を免除された者とする。その受験番号は、当日午後1時30分に本学院及び人文・社会科学総合教育研究棟玄関に掲示する。

試験場所 北海道大学大学院教育学院(札幌市北区北11条西7丁目)

9 合格者発表

平成31年2月12日(火)午前9時に本学院および人文・社会科学総合教育研究棟玄関に掲示するとともに、本人宛合否を通知する。

※電話による照会には応じない。

10 長期履修学生制度について

職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士後期課程は3年）を超えて一定の期間（上限6年間）にわたり計画的に教育課程を履修して修了することを申し出たときは、審査のうえ、その計画的な履修を認めることがある。

申請資格、申請手続き等は別紙のとおりである。詳細は、教務担当に問い合わせること。

11 個人情報の取扱いについて

- (1) 本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人北海道大学個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期している。
- (2) 出願書類に記載されている氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜、②合格発表、③入学手続き、④入学者選抜方法等における調査・研究、及び⑤これらに付随する業務を行うために利用する。
- (3) 出願書類に記載されている個人情報は、合格者のみ入学後の①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、③授業料等に関する業務を行うために利用する。
- (4) (3)の個人情報のうち、氏名、住所に限って、北大フロンティア基金及び本学関連団体である①北海道大学体育会、②北海道大学教育学部同窓会からの連絡を行うために利用する場合がある。

12 その他

(1) 入学料及び授業料

入学料 282,000円(予定額)

平成31年度前期分授業料 267,900円(年額 535,800円)(予定額)

上記の納付金は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金が適用される。

- (2) 出願書類の受理は、受験票の交付（1月28日(月)の週に発送予定）をもってこれにあてる。
- (3) 入学を志願する者で、病気・負傷や障害等のために受験及び就学上特別な配慮を必要とする者は、平成30年12月21日（金）までに配慮申請書（本学所定様式）及び必要書類を教務担当あて提出すること。
- (4) 出願資格・試験等についての問い合わせは、返信用封筒(長3型23.5×12.0cmに宛名を明記し、82円分の切手貼付のもの)を同封のうえ本学院宛照会すること。
- (5) 出願書類等を請求する場合には、返信用封筒(角2型24.1×33.1cmに宛名を明記し、250円分の切手貼付のもの)を同封のうえ本学院宛請求すること。

平成30年10月

北海道大学大学院教育学院

(連絡先) 〒060-0811 札幌市北区北11条西7丁目

北海道大学教育学事務部 教務担当

TEL 011-706-3494, 3083

FAX 011-706-4951

平成 31 年度北海道大学大学院教育学院博士後期課程出願資格審査要項

平成 31 年度本学院博士後期課程へ入学を志願する者のうち、募集要項中の出願資格の (3), (4), (6), (7) 及び (8) により出願する者の出願資格審査を下記により実施する。ただし、今までに本学院において出願資格審査を受けたことがある者は、事前に教務担当宛て申し出ること。

1. 願 書 受 理 期 間

平成 30 年 11 月 29 日 (木) から 12 月 5 日 (水) まで (期間内に必着のこと。)

2. 出 願 書 類 等

次の書類を取り揃え、上記願書受理期間内に本学院宛て提出すること。郵送の場合は、「大学院入学願書 (資格審査)」と朱書きし、「簡易書留」郵便で下記住所へ郵送すること。

(〒060-0811) 札幌市北区北 11 条西 7 丁目
北海道大学教育学務部 教務担当

出願書類等	備 考
① 出願資格審査申請書	所定様式
② 入学願書	所定様式 (写真は 3 ヶ月以内に撮影のものを貼付すること)
③ 最終学校の卒業 (修了) 証明書	最終学校の長が作成したもの。
④ 最終学校の成績証明書	最終学校の長が作成し、厳封したもの。
⑤ 返信用封筒 1 通	出願資格審査結果通知用：定形封筒 [23.5×12cm] に宛先を明記し、372 円切手を貼付のもの。
⑥ 志望理由及び研究計画についてのレポート	本学院を志望するに至った経緯とこれまでの研究や活動について記載すること。2,000 字以内、A4 版の用紙を用い様式自由。
⑦ 著書、論文、報告書、研究発表資料、活動の成果物等	該当するものがあれば、資料として提出することを認める (2 点以内)。
⑧ 英語・日本語能力を証明するもの	TOEIC 等のスコア等英語について、自己の能力を証明するものがあれば、資料として提出することを認める。 なお、外国人留学生については、日本語能力を証明するものでもよい。

※上記⑥～⑧の書類については、出願資格 (8) により出願する者のみ提出すること。

3. 出 願 資 格 審 査 の 方 法

提出書類により資格審査を行う。ただし、出願資格の (8) により出願する者のうち必要と認められた者については、英語の試験を行うことがある。

4. 英 語 ・ 日 本 語 試 験

平成 30 年 12 月 14 日 (金) 午後 3 時 30 分～

5. 英 語 ・ 日 本 語 試 験 場 所

北海道大学大学院教育学院 (札幌市北区北 11 条西 7 丁目)

6. 出 願 資 格 審 査 の 結 果

出願資格審査の結果は、本人あて郵送により通知する。電話による問い合わせには応じない。

7. そ の 他

出願手続後は、書類の変更は認めない。なお、提出された書類は一切返還しない。

8. 博 士 後 期 課 程 選 考 試 験 の 受 験 に つ い て

本審査により出願資格を認められた者は、平成 31 年 2 月 7 日 (木) に行う博士後期課程の選考試

験を受験することができる。この選考試験を受験する者は、検定料 30,000 円を郵便局（ゆうちょ銀行）・銀行の窓口で振り込みの手続きをした上で、「検定料受付証明書」及び受験票、写真票、宛名票、返信用封筒 2 通、研究課題概要を平成 31 年 1 月 8 日（火）から 1 月 15 日（火）までに、本学院宛提出すること。郵送の場合は「大学院入学願書在中」と朱書きし、「簡易書留」郵便で送付すること。

指導教員及び専門分野等一覧

【教育学院】

平成30年10月12日現在

専攻	講 座	教 員	専 門 分 野	備 考
教育学	学校教育論	教授 浅川 和 幸	生徒指導論	
		教授 大野 栄 三	教育方法学	
		准教授 大竹 政 美		
		教授 横井 敏 郎	教育行政学	
		准教授 北村 嘉 恵	教育史	
		准教授 近藤 健一 郎	学校史	
		准教授 篠原 岳 司	学校経営論	
		准教授 白水 浩 信	教育思想	
	生涯学習論	教授 宮崎 隆 志	社会教育学	
		准教授 飯田 直 弘	比較高等教育論	
		准教授 辻 智 子	青年期教育論	
		准教授 光本 滋	高等継続教育	*
	教育社会論	教授 上原 慎 一	産業教育	
		教授 小内 透	教育社会学	
		教授 松本伊智朗	教育福祉論	
		准教授 鳥山まどか		
		准教授 亀野 淳	職業キャリア教育論	
		准教授 駒川 智 子	職業能力形成論	
	教育心理学	教授 守屋 淳	学習・授業論	
		准教授 伊藤 崇	言語発達論	*
		准教授 川田 学	乳幼児発達論	*
		准教授 河西 哲 子	視知覚認知過程論	
		准教授 加藤 弘 通	発達心理学	
		准教授 関 あゆみ	学習神経心理学	
	健康教育論	准教授 山仲 勇二 郎	時間生物学	
		准教授 柚木 孝 敬	運動生理学	
	身体教育論	教授 池田 恵 子	身体文化論	
		准教授 阿部 匡 樹	身体運動支援システム論	
		准教授 石岡 丈 昇	体育社会学	
		准教授 保延 光 一	身体運動科学	
	多元文化教育論	教授 寺田 龍 男	比較言語文化論	
		教授 長野 督	外国語教育学	
		准教授 青木 麻衣 子	比較教育学・言語教育政策	*
		准教授 ジェフリー・ゲーマン	教育人類学	
		准教授 土田 映 子	アメリカ地域研究	
	臨床心理学	教授 安達 潤	特殊教育・臨床心理学	
		教授 松田 康 子	障害者臨床心理学	
		准教授 岡田 智	発達臨床論	
		准教授 渡邊 誠	教育臨床心理学	

※1. 各教員の研究内容等の詳細については、HPまたは大学院入学案内等を参照してください。

※2. 備考欄に*を付した教員は、平成31年度に研究のため長期不在となる期間があるので、これらの教員を指導教員として希望する場合は、必ず事前に当該教員に相談してください。